

SCG083-02

会場: 201A

時間: 5月23日09:15-09:30

有馬温泉・南紀白浜温泉の地質構造

Geological Structures of Arima and Nanki-Shirahama Hot Springs

西村 進^{1*}

Susumu Nishimura^{1*}

¹NPOシンクタンク京都自然史研究所

¹NPO Kyoto Institute of Natural History

近畿中部の神戸市北区有馬町、南紀白浜町には浅い掘削で高温・高濃度の成分を含む泉源の存在が古くから知られている。しかし、これらの地域には完新世の火山活動は見当たらない。高温・高濃度の有馬温泉の金泉と白浜温泉は熱水の湧出が熱水から遊離した炭酸ガスにより噴出している。その炭酸ガス中には多量のラドン（半減期3.824日）とトロン（半減期55.6秒）を含む。さらに含有する成分にはマントル由来と推定できるものがある、温泉の流体は潜在する酸性岩の貫入岩類の周辺から上昇し、上部の断層に分かれて所々に湧出している。これらの現象地質構造を、物理探査（重力探査、放射能探査、電磁探査）にて検討したので報告する。

キーワード:物理探査,有馬温泉,白浜温泉, H₂O流体の通路,断層,岩類

Keywords: Geophysical prospecting, Arima hot spring, Nanki-Shirahama hot spring, pass of H₂O fluid, fault, nrvk of acidic igneous intrusion